



各施設事業執行状況

4

光明荘



事業施行概要

オール光明荘で取り組む支援の定着

利用者の暮らしの充実に向けた「根拠ある個別ケアの定着」、クリーンレスキュー事業やこどもの居場所づくりなどの「地域コミュニティでの活動の定着」、職場環境や業務の改善に取り組む「職員の働きやすさの定着」として、3つの支援の定着に取り組みました。

重点項目

効率性の高い業務体制の構築とDX化の推進

多職種で構成する生産性向上委員会を立ち上げ、見守り支援機器としてaams(アアムス)140床とカメラ20台、スマートフォン15台、インカム55台を導入し、ケアの質向上と職員の業務改善に取り組みました。

見守り支援機器aamsによる全入居者のバイタルや睡眠データの計測をリアルタイムに行うとともに、個々の体動に応じたアラート設定を行うことで、離床センサーとしての役割も兼ねることができ、更に職員が常時装着するインカムと連動することで、複数の職員が同時に確認し、事故のリスクヘッジに繋げることができました。

また、インカムにおいてはaamsとの連動のみでなく、他職種との申し送りや毎日の朝礼等で活用することで、職員間の情報共有を迅速かつ円滑に行うことが可能となりました。

質の高いサービス提供を実現するための取り組みの推進

居宅介護支援事業においてACPの啓発が図られるよう検討を重ね、「みんなの人生会議」を参考に、今後の過ごし方やご自身の人生とどう向き合われるのか、どのような医療やケアを受けたいか、一人一人のアセスメントを深めながら、個々のケアプランへ反映しました。また、訪問看護事業所においても、最期の時を自分らしく穏やかに過ごしていただけるよう、今何がしたいのか、何を食べたいのか等、すぐに答えを求めず、本人の意向や想いを尊重するとともに、適切なタイミングで支援がきけるよう、他事業所と情報共有を密に行い、医療連携の強化に努めました。

働きやすい環境づくりに向けた取り組みの推進

清潔な職場環境整備の一環として、来客及び職員用トイレ3ヶ所の改修工事を行いました。また、特別養護老人ホームにおいて、新しいグループを創設、グループの細分化と勤務時間の見直しを図り、働きやすい職場環境づくりに取り組みました。

職員の他事業に対する理解とモチベーション向上に繋げるため、3月に各事業の「取り組み報告会」を開催しました。所属外の事業推進について触れる機会となり、それぞれの取り組みに対して感心の声が聞かれ、事業間の相互理解に繋がりました。



多職種連携によるケアの充実

ご利用者の口腔機能の維持・向上を目指し、多職種が活発に意見交換出来るよう、口腔ケア会議の見直しを行いました。歯科医師、歯科衛生士と連携を深め、歯科医師等による口腔内評価を基に、口腔ケアが困難な方に対しては歯科衛生士が行うケアのお手本の動画撮影を行うなど、スムーズな情報共有と正しい口腔ケアの実践に取り組みました。

達成内容

口腔ケアマニュアル【総論編】【実践編】を作成・周知するとともに、口腔の健康状態の評価及び情報共有書を活用しながら、変化があれば特記事項に記載し評価することで、次の活用方法の検討に繋げることができました。また、誤嚥性肺炎による入院者数についても、取り組みが稼働した8月以降は1名となっています。

ノーリフトケアのさらなる発展に向けて、すべての介護職員が機器の活用ができるよう、機能訓練指導員と連携を図りながら整備を進めました。職員の負担軽減・業務改善の視点を軸として、毎月の生産性向上委員会の中で評価・検討を重ね、リフト対象者の選定基準と効果検証の仕組みづくりに取り組みました。

達成内容

新たにリフト1台とスリングシートを追加導入し、対象者の拡充を図りました。すべての棟に導入したことで、起床・臥床時間の幅が広がり、ご入居者の体調や希望に応じた支援が可能になりました。また、入居者の体調変化等も視野に入れた評価検証の仕組みを作ることで、職員の負担軽減にも繋げることができました。

地域 公益事業

地域の“頼れるパートナー”を目指して



こどもの居場所づくりを進めるため、和泉市子育て支援課や参画している他施設と協議を重ねました。こどもたちが自分らしく自由に過ごせる居場所として、6月より「ヒミツキチふせや」を毎週1回開催しました。近隣小中学校の生徒やPTAとの関係構築を進めたことで、周知活動等、協力をいただくことができました。

より多くのこどもたちが参加できるよう、学生ボランティアや民生委員等の協力を得ながら、チラシ配布やポスター掲示、親子で参加できる季節イベントの開催など、取り組みを進めました。

近隣でも同様の取り組みをされているが、場所の確保に課題を抱えている団体との連携を進め、1月より協働開催することになりました。

また、それに伴い、子ども達のスケジュールに沿った開催時間に変更しました。また、当初は学習支援をメインコンセプトとしていましたが、同事業を行っている他団体との情報共有を行い、一部コンセプトを緩和しました。その結果、参加者が増加し、運営体制の強化にも繋げることができました。参加することも抱える課題については、スクールカウンセラー等とも情報共有を行い、解決に向けて取り組みを進めました。